

## 北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第22回北区交流まつり		北区交流まつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6
北区に住み、働く人々が相互の心の触れあいと連帯感を強め、まちづくり意識の高揚を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に交流まつりを開催する。	北区15校区の模擬店出店、歌や踊りのステージ、子どもコーナー、各種団体出展コーナーの展示、福祉PRコーナーなどを行う。 ※荒天のため中止	来場者数(人)	35,000	38,000	中止
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 住民等と協働して実施することで、まちづくりへの参加意識の高揚を図り、また住民相互の交流を深めることができる。	◎ 北区自治連合協議会と北区役所で構成された実行委員会が実施しており、準備段階から多くの住民がボランティアスタッフとして運営に関わっている。	◎ 各校区や出展団体による趣向を凝らした催しに加え、北区出身の女子サッカーワールドカップ優勝選手をゲストに迎えたキックターゲットコーナーにより住民の参加・交流を促進する催しを企画した。	○ 住民と協働して実施するにあたり、専門の部会を設置し、各々で会議や準備を行うことにより、効率的な運営が実現できている。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 様々な団体に関わる大規模な事業であり、円滑な運営を図るため、地域住民と協働で実施している。また、より充実した内容とするため、地元企業から協賛金を募り運営経費の一部に充てているが、近年の物価高の影響を受け、事業内容の見直しも含め、持続可能な運営に向けて取り組む必要がある。	◎ 荒天のため開催直前に中止となったが、実行委員会をはじめ、専門部会での会議など開催に向けた協議や準備のなかでも住民協働の地域交流が深まった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は、荒天のため開催直前に中止となったが、開催を望む多くの住民の声があった。校区従事者のまつりへの期待、区民のまつりに対する機運の高まりに応えられるような、安全・安心かつ参加者の心に刻まれるまつりとなるよう引き続き取り組む。				